



-キャリアあれこれ-

vol.41

2015, March キャリア支援プロジェクト





看護は人間愛です！

東 7 階病棟
後藤 あき子さん

今年度定年退職を迎えられる後藤あき子師長さんに、これまでの看護師人生を振り返っていただきたいと思えます。まずは看護師になったきっかけを教えてください。

後藤さん：母から手に職をと勧められました。人相手が好きだったので、コミュニケーションがとれる仕事として看護師を選びました。看護学校時代に先輩の助産師学生が分娩介助をしている姿を見て、医師の指示ではなく自分の判断で取り上げられるのはいいなと思って、東北大学医学部附属助産婦学校に入り、助産師になりました。就職は旧西 2 階病棟の産科と婦人科の混合病棟で、周母とローテーションしつつ 22 年経ちました。かつて産科は一人夜勤で大変でしたね。

その後東西 6 階病棟の分娩部とNICUの師長となり 100 人近いスタッフを束ねることになりました。

一印象に残っているケースはありますか

後藤さん：婦人科の患者さんは同じ女性同士ということで受け入れられるまで時間がかかりましたが、信頼関係ができてからはやりがいがあって、注射が痛くない看護師でしたよ。いまでも私を覚えてくれる患者さんがいることが嬉しいですね。

一ところで後藤師長さんというイメージが

後藤さん：記録委員会が長く、平成 7 年に記録委員長になり、パス委員として国立熊本病院を見学し、その後第 1 回パス大会を開催しました。そのときにパワーポイントを独学で勉強しました。知ること(勉強する)が好きで、放送大学にも入りました。大変でしたが平成 13 年 3 月に卒業しました。千葉での卒業式には自分で着付けして袴をはいたんですよ。家族には迷惑を掛けたと思います。下の子が 15 歳の時に勉強していたら本を投げられたことがありますね。かまってくれなかったんですね。

一こんなに忙しい中これまで続けられた理由は何ですか

後藤さん：副師長時代までは、上に言いたいことは言えるし看護は何でも知っているし、患者さんには信頼を得ているし何処にいてもとても楽しかったですよ。師長になってまず「私は自然

なお産をしたいと思っている」とフリースタイル分娩を提案したところ、スタッフが「私たちだってやりたい」と言ってくれました。当然、医師からの猛反対を受けました。医師を説得するためにエビデンスを集め、戦いました(いい意味)。最終的に理解を得られました。他部署に先駆けて周産母子センターのホームページをつくり、全国国立大学病院で分娩取り上げ数一位になったんですよ。助産師外来・お祝い膳・お祝いギフト・妊婦ヨガ・両親学級・助産師の 2 週間健診なども実現しました。乳房が張って苦しむ褥婦さんを師長室のソファでマッサージしてあげることもよくあって、そこから乳房管理料につなげたりね・・・周母の師長として平成 16 年から 7 年間やり尽くしました。

一すごいですね

後藤さん：セカンドレベルで、地域に帰って行ったハイリスクのお母さん達(母児)の継続看護の必要性を感じていたため地域拡大カンファレンスを企画開始しています。婦人科に移ってからはPNSができました。看護協会や助産師会で外部の人達との交流があり、その中でデータでプレゼンしているのが刺激になり、師長として必要なデータを毎日取るようになりました。ヒアリングの時は数字を出し要求しているんですよ。(といて見せて下さったデータ一覧表は、入退院、緊急入院数、化学療法の数、緩和ケア病棟への入室数、等等、今後の管理業務でぜひ取り入れたいと、思われるものでした)

一大学病院に対して何かエールはありますか

後藤さん：大学病院はすごくよくなったと思います。かつてはこの世話にはなりたくないと思ってたのに、今は自信を持って他の人に勧められる病院になりました。環境・研修やコーチングなど人間性を高める機会が多く患者さんが選ぶ病院になったと思います。できれば今後、師長回診ができるといいと思います。リーダーと一緒に患者さんのところを回ります。リーダーは管理の勉強になるし師長はスタッフを褒める材料になりますよね。私は看護は人間愛であると思っています。

一娘さんが 2 人いて、趣味は社交ダンス。競技会で優勝も。助産師のプロとして、良いお産に対する信念から、師長としてリーダーシップを発揮し、多方面に働きかけ戦い勝ち取り多くの成果を上げながら突き進んできた。また、向上心が高くアクティブに多くのことを学んできた。その中で知り合った多くの人達からの刺激や、知識、智慧を取り入れ、多数の引き出しに豊かな財産がある、とても充実した職業人人生であったのではと思いました。本当にお疲れ様でした。(インタビュー:ICU3 佐々木夫起子、東 11 階 太田真利子)

後藤 あき子さんのキャリア

経験年数	0～9.5年 (9.5y)	9.5～27年 (17.5y)	28年～34年 (7y)	35～38 (4y～)
経歴部署	旧西2階産婦人科 周産母子部、分娩部	旧西2階産婦人科	東西6階病棟 周産母子部、NICU、GCU	東7階病棟 婦人科
昇任・ラダー		副看護師長・看護記録委員会・パス委員会 クリニカルレベルIV	看護師長	
自己研鑽		ファーストレベル認定・放送大学教養学部卒業 乳房マッサージ手技確立	セカンドレベル認定	ベビーマッサージインストラクター資格取得
ライフイベント	結婚 第1子・第2子誕生			

